

NEWS 絆

東北生産性本部

第42回仙台シンポジウム9月例会開催

**労働力喪失時代の「スマートエコノミー」を目指して
～日本サービス大賞事例にみるサービスイノベーション～**

第42回仙台シンポジウム9月例会は、産業戦略研究所 代表 村上 輝康 氏を講師にお迎えし、約50名の参加を得て開催いたしました。

■9月例会（2019年9月2日開催）**講師 産業戦略研究所 代表 村上 輝康 氏**

プロフィールなど

1945年生まれ。京都大学経済学部卒。1968年野村総合研究所入社。2002年同所理事長。2012年産業戦略研究所代表。2013年NTTドコモ取締役（独立役員）。

IT戦略本部・本部員（有識者）、総務省・情報通信審議会政策部会長、経産省・産業構造審議会情報経済分科会長等を歴任して、ユビキタスネットワークという概念を提唱し普及に努めた。著書は「ユビキタスネットワーク」、「サービス産業のグローバル化」等多数。

【ご講演要旨】

少子高齢化の進展により、急速に生産年齢人口が減少する「労働力喪失時代」に求められるイノベーションのあり方について、「日本サービス大賞」の事例のご紹介も含めてご講演いただきました。

○「スマートエコノミー」提言の課題認識

- ・ 取組みの基本スタンスは、①生産年齢人口の減少、②格差問題解消のためのスマートエコノミー、③経営のための生産性から「生産性経営」へ

○「スマートエコノミー」提言

- ・行き過ぎた企業保護策をやめ、企業革新活動支援に転換
- ・政府は、企業数の自然減に抗わず、企業の新陳代謝を促進すべし。
- ・労働市場の適正化に向け最低賃金の引き上げや同一労働同一賃金を推進
- ・産業・経済全体での高効率化に向け、商慣行を改善し、無駄ロスを低減
- ・サービス産業の研究開発投資の拡大
- ・労働の質に見合った労働分配に適正化
- ・海外の富裕層の需要取り込み

○日本サービス大賞にみるサービスイノベーション事例

- ・(株)とくし丸、ななつ星 in 九州、(株)ハッピー等の事例紹介

○成長経営から生産性経営へ

- ・持続可能な経営に向けた生産性指標（労働生産性等）を公表せよ。

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

第 42 回仙台シンポジウム（2019 年度）

*会場：仙台商工会議所会館 7 階 大会議室

【今後の開催予定】

10 月例会 2019 年 10 月 16 日（水）13:30～15:00

『最近の事象から見るコンプライアンスの在り方』

講師：中央大学法科大学院 教授／弁護士 野村 修也 氏

11 月例会 2019 年 11 月 13 日（水）13:30～15:00

『人口減少時代における労使の役割』

講師：日本労働組合総連合会 会長 神津 里季生 氏

12 月例会 2019 年 12 月 3 日（火）13:30～15:00

『2020 年 世界の潮流を読む』

講師：（一財）日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏